



2016年1月8日発行
第60号

発行元：生活クラブいなげビレッジ虹と風運営協議会
問合せ先：NPO法人 VAIC コミュニティケア研究所
〒263-0051 稲毛区園生町1107-7 TEL.043-290-8015
HPアドレス：<http://www.niji-kaze.lolipop.jp/>

広報紙 **虹と風のたより**

謹んで初春のお慶びを申し上げます



新年明けましておめでとうございます。
今年の干支の「申」は、『「呻」(しん:「うめく」の意味)で、果実が成熟して固まって行く状態を表しているとされる。後に覚えやすくするために動物の猿が割り当てられた。(ウィキペディアより)』とあります。

「生活クラブいなげビレッジ虹と風」は、7月で5年目を迎えます。少しずつ地域に認知され、多くの方が訪れ利用して下さるようになりました。生活クラブいなげビレッジ虹と風は、引き続き地域のみなさまに信頼される「暮らしと福祉の複合拠点」となるよう運営協議会メンバー一同、真摯に活動していきます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

フードドライブにご協力ください

★ VAIC-CCI はフードバンクの活動を応援しています ★

ご家庭に眠っている
食品大募集!

まだ賞味期限内なのに廃棄される食品を無償で引き取り、食べ物を必要とする人に無償で届けます!

注意いただきたい点

期間：H28年1月31日までの平日

時間：9:00~17:00

場所：VAIC コミュニティケア研究所 事務所

※直接ご持参ください。集まった品物はまとめてフードバンクちばに届けます。

- 賞味期限が明記され、かつ1ヶ月以上あるもの
- 常温で保存が可能なもの
- 未開封であるもの
- 破損で中身がでていないもの

VAIC コミュニティケア研究所

043-290-8015

No.27 「**園生神社**」 千葉市稲毛区園生町624



園生神社は県道 72 号線から少し入った静かな地域にある。ここはかつて「園生村」として最初に集落が形成された場所であり、千葉氏に縁のある、由緒ある土地柄である。

通常、神社の本殿と拝殿は同じ敷地内にあることが多いが、園生神社は両者が数百メートル離れた別の敷地に存在しており、全国的にも珍しいと言われている。

「珍しい」神社となった理由は、園生神社の成り立ちにある。本宮側の神社は、古くからその土地の守り神である産土（うぶすな）神と春日神社の御祭神を祀る「産土神社」として認知されていた。一

方の拝殿側の神社は「園生城」跡地に後から建立されたものである。この二つの神社が「園生神社」として一つになったのは、明治政府の政策によって合祀されたからである。

後に、産土神社は「本殿」と呼ばれ、園生城跡地に建立された神社は「拝殿」と呼ばれるようになるのだが、元々の産土神社（現在の本殿）側に祀られていた神々も、合祀の際にすべて拝殿側の神社に遷座されたことにより、本殿は神のいない神社としてその存在を忘れられ、人々の足は遠のき、荒れ果ててしまっていた。その本殿に再び光が当たったのは 1990 年代に入ってからである。見かねた地域住民や氏子が清掃・整備を開始、「本宮」の看板や鳥居も新たに建てられ、参拝者の足も戻ってきた。祭禮保存会も発足され、祭りや行事も行われ、再び「その土地の守り神」としての地位を取り戻しつつある。（次号「園生神社祭禮保存会」につづく）

♥ テポ一園生企画 ♥

ワンプレートアート「**チョコレート de プレート**」

生活クラブのチョコを使って、
見て楽しい・食べて美味しい1皿をどうぞ!

1月27日(水) 10:30~12:30

テポ一園生2階「地域活動スペース虹」にて

参加費：一般400円 / 組合員300円

申込〆切：1月19日(火)

託児条件：要予約・生後4か月以上のお子様のみ

一般500円(時間・人) / 組合員無料

連絡先 043-290-0133
(担当：近藤)

<編集後記>

冬の空が透明でよく晴れた日には、総武線の電車から富士山がよく見えます。この冬、平地がわりに暖かかったわりには、富士山は中腹より下まで、かなりの雪をかぶっています。

お正月、電車の中から富士山を眺めながら、「2016年がよい年でありますように」と、思わずつぶやきます。(じ)



1/27(水)

14:00~16:00

地域活動スペース虹にて

水彩教室

水彩画の様々な技法や絵具の特徴がわかれば、静物、風景画などの表現が広がります。初心者大歓迎!

●参加費 800円 ●定員 15名(先着順・要予約)

VAIC コミュニティケア研究所 **043-290-8015**

